

からくり伊賀七の残したもの

飯塚伊賀七は宝暦二年(1762)三月二十九日、谷田部新町で代々名主を勤める旧家に生まれた。飯塚家の先祖は遠く室町時代の人で山田衡算(文安元年1444歿)といひ、京都の儒学者であったと伝えられている。伊賀七は初代衡算より数えて二代目に当たる。性すぶる工夫発明に富み、数理に明らかであったと伝えられ、「からくり伊賀七」と呼ばれたほどであった。

谷田部領内の測量

伊賀七は天明八年(1788)二八歳の時、「一間谷田部絵図」を製作した。また、この地図を縮尺した谷田部地方の地図も作った。これらはいずれもきわめて正確で、現在の地図に匹敵する程の精度をもっている。その際、伊賀七は測量機械を自作したようで、距離を測定する「十間輪」という木製の機械が残っている。これは一回転が丁度三尺(約九〇センチ)になる車を転がして歩くもので、一〇間(約18m)歩くと鐘が鳴るようになっていた。

飛行機と自動人形の試作

伊賀七は鳥の翼のような飛行機を作り、筑波山から谷田部まで滑空する計画を立てたが、藩主細川公に禁止させられたと伝えられている。また、伊賀七は室内で茶を運ぶ「茶くみ人形」や、白昼街路を往復する「酒買人形」を作ったと伝えられている。

多宝造鐘樓堂の設計

谷田部から江戸へ行く途中の利根川のほとりに、紅竜山東海寺布施財天(千葉県柏市)という名刹がある。文化七年(1810)伊賀七は、この寺の鐘樓堂の設計を行っている。この鐘樓は多宝造と呼ばれ、屋根が四角で胴体が丸、土台が八角という珍しいもので、多宝塔の建築様式を採用したものである。

歩いて発見。谷田部街道めぐり

歴史編

藩主細川公の歴史と、

発明家伊賀七の

功績を辿る。

現代*の地図と比較してみよう!

*市町村合併以前



←市町村合併以前の谷田部地区
伊賀七が28歳の時に製作した谷田部地方の地図と比較してみると、ほとんど同じ形をしている。

五角堂

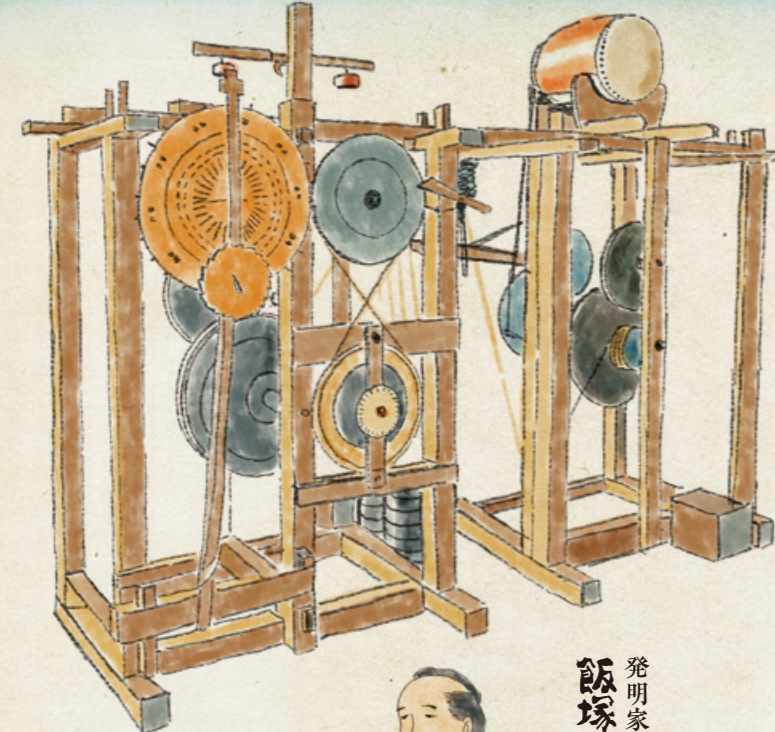
伊賀七は邸内の一面に、五角堂と呼ばれる正五角形の堂を建立した。その規模は、一辺約四・七m、高さ約六mで内部は土間になっている。五本の梁は交叉した中心部を一本の柱で吊られている。中心の柱から傘の骨のように放射状に出ている小柱。〇本により支えられている。江戸時代後期、諸国を歴訪していた関流の数学者山口倉八が、旅日記にこの五角堂を書き残していることから、建立当時からかなり有名になっていたことが知られている。また、晩年には脱穀機を造り、この中に設置したといわれる。

木製大時計の製作

伊賀七は六六歳の頃に、五角堂の近くに九尺四方、二階建ての時計堂を作った。この二階に巨大な木製時計を作った。据え付け、鐘と太鼓を同時に鳴らすよう仕掛けし町内に時報として知らせた。現存するこの時計の一部を利用して復元したものが郷土資料館に展示している。



伊賀七くんは、町内小学校6年生(当時)の作品



木製和時計
現存する文字盤や歯車などの部品に不足部品を追加して復元。からくりにより、太鼓や笛を鳴らす打機能も備えており、当時は、五角堂と並ぶ時計台に設置され、毎日決まった時刻に自動で鐘や太鼓が時を知らせたと言われている。



発明家 飯塚伊賀七

十間輪
車輪を転がして距離を測る木製の機械。10間(約18m)進むと取り付けられた鐘が鳴る仕組み。



五角堂
伊賀七が邸内の一面に建立した、五角堂と呼ばれる正五角形の堂。

谷田部市街地活性化協議会



谷田部領地図(谷田部郷土資料館)写真提供「つくば教育委員会」
伊賀七が28歳の時に製作した谷田部地方の地図。きわめて正確で、現在の地図に匹敵する程の精度をもっている。
※橙色の枠内表記は、現在の場所。

さらに詳しい情報は

谷田部郷土資料館

郷土の文化財、遺物、古文書の歴史資料などの展示をしています。谷田部藩細川氏の展示資料、江戸時代の発明家「飯塚伊賀七」が製作した木製和時計の復元品もあります。

つくば市谷田部4774-18 (谷田部交流センター3階)
tel.029-836-0139
◎開館時間 10:00~16:00
◎休館日 毎週月曜日・祝日・年末年始(12月29日~1月3日)
◎料金 無料

◎編集後記
谷田部がまちなら...
コロナ禍で思うような活動が出来ない中、谷田部の魅力を発信しようと第三号「歩いて発見。谷田部街道めぐり」を発行しました。今回のテーマは、市街地を整備した細川公の歴史、そして我が郷土の偉人、からくり伊賀七の残したものを取り上げました。谷田部が小規模ながらも城下町として整備されたことに、周囲から「谷田部も城下町か、たにしも魚か」とか「真瀬のようなる在所(賑やかな所)もあるのに谷田部城下とは気が強い」などと冷やかされたというくだりがあります。私とその昔古老から聞いた言い伝えでは「谷田部がまちならタニシも魚か、チョウチョ、トンボも鳥のうち、電信柱に花が咲く」というものでした。時の流れでこゝも変遷し揶揄されるものかと妙に感心させられたものです。

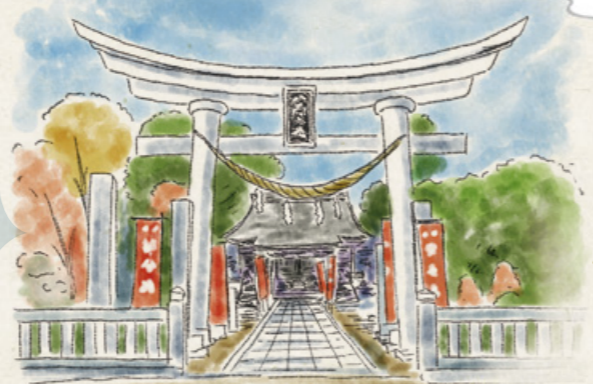
M記
企画・発行 令和4年10月1日
編集・制作 谷田部市街地活性化協議会・キャンパス協力 つくば市 都市計画部 周辺市街地振興課
出典 谷田部郷土資料館・谷田部の歴史
谷田部市街地活性化協議会 facebookページ
<https://www.facebook.com/yatabe.tuskuba>





八雲神社
 栃木県茂木町茂木1-6-09
 茂木町にはかつて、細川興元の御霊をお祀りしていた大光神社があった。細川興元は、戦国三英傑(織田信長、豊臣秀吉、徳川家康)に仕えるという、戦国時代の歴史を語るうえで欠かせない、非常に重要な務めを果たした人物の一人で、徳川家第二代将軍秀忠から、関ヶ原での勇猛果敢さを認められ、下野国芳賀郡茂木に1万石を与えられて、茂木藩の初代藩主となった。その御霊(大光霊神を祀ったのが、茂木の地にあった大光神社であり、その後大光神社は、八雲神社へと合祀され、現在は八雲神社の配神として祀られている。

能持院 曹洞宗
 栃木県茂木町塩田2-2-7
 能持院は、この地で初めて茂木氏を名乗ったとされる茂木家の祖・八田知基(茂木知基)が1222年に創建した曹洞宗の寺院。もともとは茂木氏の菩提寺であったが、1610年に細川興元が茂木に封ぜられてからは、細川家代々の菩提寺となった。境内に今も残る細川家墓所は県指定史跡になっており、寺院の入り口にある文明年間の建立とされる総門は県有形文化財に指定されている。

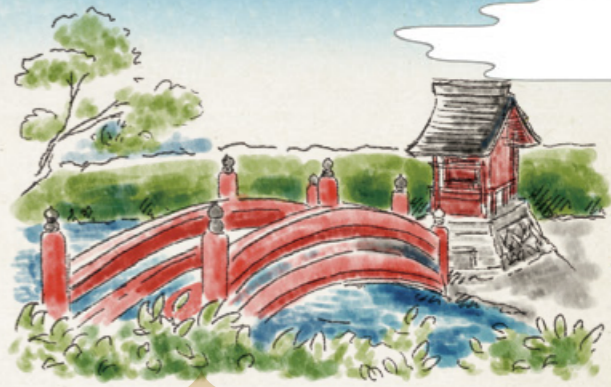


茂木

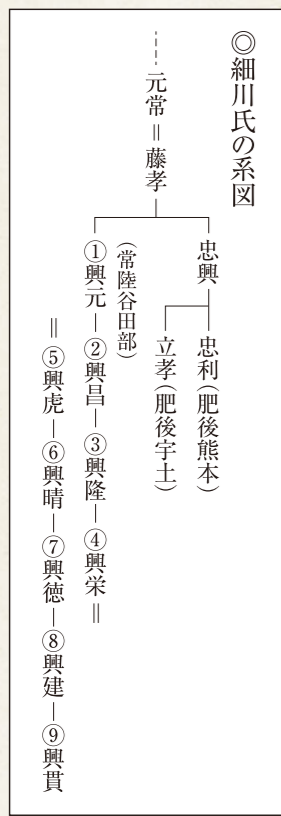
かつて、谷田部の市街地を整備した藩主細川公のルーツは、栃木県茂木町にあった。



八坂神社
 つくば市谷田部2-9-9
 祭神は素戔嗚尊(スサノヲノミコト)。旧村社。江戸初期の建立。境内には大六天神社、稲荷神社が祀られている。毎年7月下旬に、八坂神社をスタートして、神輿を担ぐ祇園祭が開催される。



小渡山照明院 医王寺
 つくば市谷田部6-18-9
 本尊は阿弥陀如来、弘法大師の作と伝えられる。大同年間(806~810年)の開山とされる。元和2年(1616年)、細川氏が谷田部に封ぜられると、陣屋の鬼門除けの祈願寺として改めて開創。薬師堂は、天正中(1588~1599年)に、由良氏が先祖の岡見氏の先祖を供養するため開いた、七観音八葉師のひとつ。昭和61年(1986年)の再建。境内には弁財天を祀っている。



関ヶ原の役後、徳川氏に仕えた初代藩主細川興元は、大阪夏の陣の功績により谷田部六〇〇石余を加増され、本城、茂木(栃木県茂木町)と合わせて二万六〇〇石余の大名となった。

江戸時代を通じて谷田部を領有した細川氏は、清和源氏の後継で、室町時代に管領となっていた細川氏の流れに和泉守護家の細川元常がいた。この元常には子供がなく、長岡藤孝を養子にした。藤孝は玄旨幽斎と号し、詩歌にすぐれた故事に通じており、織田信長や豊臣秀吉に仕え、晩年には徳川家康にも仕えた。藤孝の嫡子忠興はすぐれた戦国武将で熊本五万石を領し、細川氏の祖となった人である。次子を興元といったが生れまわめて乱暴者であったと伝えられている。興元は朝鮮侵攻の時には兄忠興と共に参加し、続いて関ヶ原の役には徳川方につき忠興に属して出陣した。その後、徳川秀忠に召し出され慶長五年(1610)七月二十七日、下野茂木二万石を給せられた。

大阪夏の陣のとき興元は、将軍秀忠の先隊として五番手の酒井雅加贈された谷田部領は、江戸から五里(約60km)で道路も平坦だった

細川氏の下野茂木領は江戸から三六里(約140km)もあり、交通がきわめて不便であったが、新しく加贈された谷田部領は、江戸から五里(約60km)で道路も平坦だった

城下町の形成
 二代藩主興昌は谷田部陣屋を設置すると同時に、城下町の形成にも力を注いだ。陣屋の大手門から江戸に通ずる街道を整備、今は現存しないが、つくば工科高校前付近にあった不動並木は、この頃植えられたものと考えられている。また、町内を通る道路は、陣屋付近で直角に曲がっているが、この道路も同じ頃に整備したものである。陣屋の北東側にあたる小渡山には、鬼門よけとして医王寺を建立した。

家臣の構成
 谷田部藩の家臣の構成をみると、天保二年(1840)における藩士の数は、江戸屋敷五八名、茂木陣屋四七名、谷田部陣屋四三名、計一四八名であった。この他に奥女中、足軽、門番、水汲、大工など二八名、扶持を与える寺院、出入商人など三〇名で、合計三三〇名であった。



大渡山不動尊
 つくば市谷田部1-4-8-6-5
 不動尊の創建は不詳。境内に「記念碑」あり。



八幡神社
 つくば市谷田部3-0-2-5
 祭神は菅田別命(応神天皇)。江戸初期の創建。

愛宕神社
 つくば市谷田部6-19-5
 江戸初期の創建とされる。谷田部市街地を見下ろす高台にある。

小渡山照明院 医王寺
 つくば市谷田部6-18-9
 本尊は阿弥陀如来、弘法大師の作と伝えられる。大同年間(806~810年)の開山とされる。元和2年(1616年)、細川氏が谷田部に封ぜられると、陣屋の鬼門除けの祈願寺として改めて開創。薬師堂は、天正中(1588~1599年)に、由良氏が先祖の岡見氏の先祖を供養するため開いた、七観音八葉師のひとつ。昭和61年(1986年)の再建。境内には弁財天を祀っている。

谷田部
 谷田部は、清和源氏の後継で、室町時代に管領となっていた細川氏の流れに和泉守護家の細川元常がいた。この元常には子供がなく、長岡藤孝を養子にした。藤孝は玄旨幽斎と号し、詩歌にすぐれた故事に通じており、織田信長や豊臣秀吉に仕え、晩年には徳川家康にも仕えた。藤孝の嫡子忠興はすぐれた戦国武将で熊本五万石を領し、細川氏の祖となった人である。次子を興元といったが生れまわめて乱暴者であったと伝えられている。興元は朝鮮侵攻の時には兄忠興と共に参加し、続いて関ヶ原の役には徳川方につき忠興に属して出陣した。その後、徳川秀忠に召し出され慶長五年(1610)七月二十七日、下野茂木二万石を給せられた。

茂木
 関ヶ原の役後、徳川氏に仕えた初代藩主細川興元は、大阪夏の陣の功績により谷田部六〇〇石余を加増され、本城、茂木(栃木県茂木町)と合わせて二万六〇〇石余の大名となった。

谷田部
 谷田部は、清和源氏の後継で、室町時代に管領となっていた細川氏の流れに和泉守護家の細川元常がいた。この元常には子供がなく、長岡藤孝を養子にした。藤孝は玄旨幽斎と号し、詩歌にすぐれた故事に通じており、織田信長や豊臣秀吉に仕え、晩年には徳川家康にも仕えた。藤孝の嫡子忠興はすぐれた戦国武将で熊本五万石を領し、細川氏の祖となった人である。次子を興元といったが生れまわめて乱暴者であったと伝えられている。興元は朝鮮侵攻の時には兄忠興と共に参加し、続いて関ヶ原の役には徳川方につき忠興に属して出陣した。その後、徳川秀忠に召し出され慶長五年(1610)七月二十七日、下野茂木二万石を給せられた。

谷田部陣屋の設置
 細川氏の下野茂木領は江戸から三六里(約140km)もあり、交通がきわめて不便であったが、新しく加贈された谷田部領は、江戸から五里(約60km)で道路も平坦だった

城下町の形成
 二代藩主興昌は谷田部陣屋を設置すると同時に、城下町の形成にも力を注いだ。陣屋の大手門から江戸に通ずる街道を整備、今は現存しないが、つくば工科高校前付近にあった不動並木は、この頃植えられたものと考えられている。また、町内を通る道路は、陣屋付近で直角に曲がっているが、この道路も同じ頃に整備したものである。陣屋の北東側にあたる小渡山には、鬼門よけとして医王寺を建立した。

家臣の構成
 谷田部藩の家臣の構成をみると、天保二年(1840)における藩士の数は、江戸屋敷五八名、茂木陣屋四七名、谷田部陣屋四三名、計一四八名であった。この他に奥女中、足軽、門番、水汲、大工など二八名、扶持を与える寺院、出入商人など三〇名で、合計三三〇名であった。

谷田部の構成
 谷田部藩の家臣の構成をみると、天保二年(1840)における藩士の数は、江戸屋敷五八名、茂木陣屋四七名、谷田部陣屋四三名、計一四八名であった。この他に奥女中、足軽、門番、水汲、大工など二八名、扶持を与える寺院、出入商人など三〇名で、合計三三〇名であった。

ロゲイニング

産直野菜販売

移動図書館

プロジェクションマッピング

紙芝居

物産展

お琴演奏

谷田部市街地の

オータムフェア

アイラブつくばまちづくり支援事業

ロボットワークショップ

吹奏楽演奏

模擬店

骨董市

けんちんうどん

手打ち蕎麦

盆栽・植木販売

ゲーム

11月6日(日) 9:00~15:00

プロジェクションマッピングは17:00~18:00

※小雨決行
※順延なし

新型コロナウイルス対策徹底の為、マスク着用の上ご来場ください。

タイムテーブル

- 9:00 ~ オープニング
- 9:30 ~ 物産展オープン
- 10:00 ~ ロゲイニング 受付・出発
- 13:00 ~ 演奏会
- 15:00 ~ ロゲイニング 表彰式
- 17:00 ~ プロジェクションマッピング

ロゲイニング参加受付は 10:00~
ふれあい広場 **本部** にて行います。

ロゲイニングとは?



『町の宝探しゲーム』

地図・コンパスを使って多数設置されたチェックポイントを
できるだけ多く制限時間内にまわり点数を競うスポーツ。

Let's get together and have fun! Yatabe Urban Area Autumn Festival

Please wear a mask to participate in the event in order to ensure thorough measures against the new type of coronavirus (COVID-19)




骨董品
物産展
模擬店
盆栽・植木販売
産地直送野菜販売
手打ち蕎麦
けんちんうどん
吹奏楽演奏 (谷田部中)
お琴演奏 (喜楽座)
ロゲイニング
プロジェクションマッピング
ロボットワークショップ
移動図書館 (アルス号)
手作りゲーム
紙芝居




Antiques
Product Exhibition
Refreshment booth
Bonsai and plant sales
Vegetables direct from the farm
Handmade Soba Noodles
Kenchin Udon Noodles
Brass band performance
Koto performance
Rogaining (Treasure Hunt game in town)
Projection Mapping
Robot workshop
Mobile Library
Handmade Games
Picture-story show



アクセス

・車の場合 
常磐道・谷田部 I C
圏央道・つくば中央 I C より 約 10 分
市民ホールやたべ向かいの駐車場 及び
谷田部交流センター横の駐車場をお使いください

・バスの場合 
TX みどりの駅から、
つくバス自由が丘行 ~ 谷田部窓口センター 降車



主 催 : 区長会谷田部支部・谷田部市街地活性化協議会
協 力 : つくば市・つくば市商工会・筑波大学 藤田研究室・つくば工科高校 他

イガテック & 筑波大学

Autumn Fair Yatabe 2022

in 谷田部
オータムフェア
2022



新型コロナ対策徹底のため、マスク着用の上ご参加ください。

終日受付

ロボットゲーム

！ 飴取りゲーム！



受付 10:00～

AR ロゲイニング

！ ロゲイニング！



17:00～

プロジェクションマッピング

！ 伊賀七とコラボ！



ステージイベント

！ 吹奏楽演奏！



物産展

！ 産地直送野菜！



骨董市

！ 骨董品！



フード

！ おいしい食べ物！



11.06 (日) 9:00 ~ 15:00

※ 小雨決行、順延なし

プロジェクション
マッピング
17:00～

会場

市民ホール谷田部横 ふれあい広場

※ 谷田部交流センター横の駐車場をご利用ください。

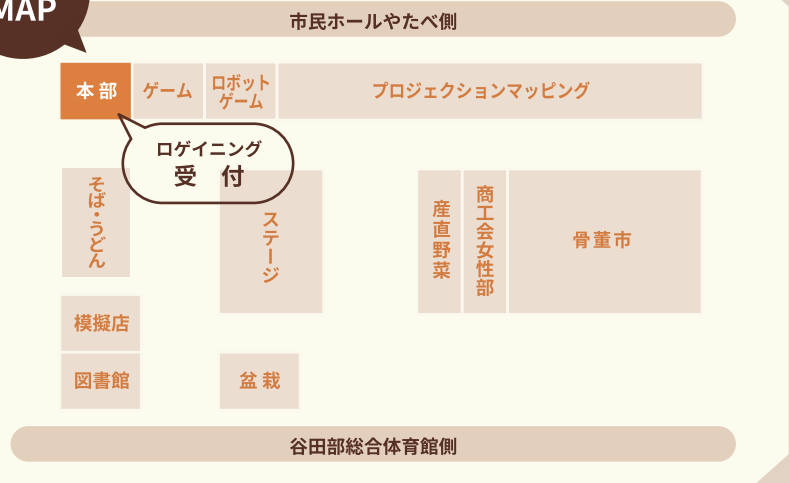
主催：IgaTech・筑波大学 藤田研究室

協力：つくば市周辺市街振興課・つくば市商工会・つくば工科 ロボット工学科・沼尻WEBデザイン事務所

タイムテーブル

- 09:00 オープニング
- 09:30 物産展オープン
- 10:00 ロゲイニング 受付・出発
- 13:00 吹奏楽演奏会
- 15:00 ロゲイニング 表彰式
- 17:00 プロジェクションマッピング

会場 MAP



ARロゲイニング

筑波大学 藤田研究室 監修

コンパスと地図を持ち、谷田部の指定された地点を周りに多く多く得点するかを競います。

※ホームページからの申込みをお願いします。(<https://www.tsukuba-r8-rogaining.com/>)

当日に飛び入り参加できる可能性はありますが、使用機材の数に限りがあるため事前申し込みした方を優先します。



ロボットゲーム

つくば工科高等学校 ロボット科 監修

タブレット端末でキャタピラ搬送ロボットを操作し対象物を取るゲームです。



プロジェクションマッピング

つくば R8 谷田部 IgaTech 監修

筑波大生クリエイターによる、谷田部の歴史を掛け合わせたプロジェクションマッピングを投影します。



11.06 (日) 9:00 ~ 15:00

※ 小雨決行、順延なし

会場

市民ホール谷田部横 ふれあい広場

〒305-0861 茨城県つくば市谷田部 4711 番地周辺



IgaTech
YATABE

つくば R8 谷田部イガテック Instagram にて最新情報発信中